

科目名 Course Name	教育原理 Principles of Education			ナンバリング No.	K1-002		
年次	1 年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	松崎勇人						
連絡方法	C-Learning で対応。または、本館 2 階研究室、火曜を除く昼休みや空き時間						
必修/選択	選択（保育士養成課程必修・幼稚園教諭養成課程必修）						
関連 DP	DP2						
授業の概要と 到達目標	<p>教育の意味と目標、教育を成り立たせる要素と相互関係、教育の歴史と思想について、分かりやすく説明する。</p> <p>①教育の意味と目標、教育を成り立たせる要素と相互関係について述べることができる。</p> <p>②教育の歴史と思想、現代公教育制度の課題について述べることができる。</p>						
授業の方法	<p>黒板を使つての説明を中心とした講義を行う。なるべく著作の現物や思想家の写真等を見せながら、イメージをわかりやすくするようにする。また、4 人から 5 人の小グループを作り、教育に関するテーマについて討論して発表することを行う。講義者が、それらの学生の見解を尊重しながら、幅広い観点からそれを補い、深める。</p>						
学習成果	L01						
	L02	<p>(1) 教育の意味や子どもの見方を説明することができる。</p> <p>(2) 教育の歴史や教育することに関する対照的な、異なった考え方の長所と短所を述べることができる。</p> <p>(3) 教育を左右する社会的要因、教育経営の基本的考え方、日本の教育の目的と教育制度の骨格を説明することができる。</p> <p>(4) 教育と保育の関係について述べるすることができる。</p>					
	L03						
	L04						
課題に対する フィードバック	課題は講義中に返却する。						
教科書/ 参考図書	教育原理 新・基本保育シリーズ② 矢藤誠慈郎・北野幸子編集 中央法規出版						
履修上の留意点 やルール等	休まないこと。真剣な態度で講義に臨むこと。私語をしない。積極的に質問すること。免許取得科目のため教育に対する強い興味や関心を維持すること。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。こどもフィールド教職履修者のみ受講可。						
担当教員の実務 経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	事前事後学習をしてから真剣に講義に臨んでいる。		20		
レポート/作品					
発表					
小テスト					
試験	基本的事項について述べられるか筆記試験で確認する。		80		
その他					
合計			100		

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス、教育と保育
	事前・事後学習	それらの意味や関係を表現する。
2	授業内容	教育の意味
	事前・事後学習	深く広い意味を表現する。
3	授業内容	教育を成り立たせる要素と相互関係
	事前・事後学習	それらの要点を整理する。
4	授業内容	教育の目的と目標の考え方、民主的な教育目標
	事前・事後学習	目標を言語化する。
5	授業内容	日本教育史、古代から中世
	事前・事後学習	歴史の要点を整理する。
6	授業内容	日本教育史、中世から近世
	事前・事後学習	歴史の要点を整理する。
7	授業内容	日本教育史、近代。
	事前・事後学習	歴史の要点を整理する。
8	授業内容	日本教育史、現代。現代社会における教育課題
	事前・事後学習	現代の教育課題の意味を整理する。
9	授業内容	西洋教育史、原始からギリシャ
	事前・事後学習	歴史の要点を整理する。
10	授業内容	西洋教育史、ギリシャ
	事前・事後学習	歴史の要点を整理する。
11	授業内容	西洋教育史、ローマから中世
	事前・事後学習	歴史の要点を整理する。
12	授業内容	西洋教育史、近代
	事前・事後学習	歴史の要点を整理する。
13	授業内容	西洋教育史、近現代
	事前・事後学習	歴史の要点を整理する。
14	授業内容	教育思想の基本（家庭や子ども観）
	事前・事後学習	考えの要点を整理する
15	授業内容	教育思想の基本（学校や学習観）
	事前・事後学習	考えの要点を整理する